

～目 次～

公益財団法人 こころすこやか財団の運営

(1) 理事会・評議員会

**公益事業 1：障害者・高齢者・認知症者が
安心して暮らせる地域づくり事業**

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

- ◆ 地域生活支援センター青明舎
- ◆ 障害者就業・生活支援センターみさわ
- ◆ こころすこやか財団グループホームあおば・あおめ・あおぞら
- ◆ グループホーム青風荘
- ◆ 障害者生活訓練施設青山荘
- ◆ 障害者就労移行支援事業
- ◆ 在宅介護支援センターたえみ
- ◆ サービス付き高齢者向け住宅悠湯の里
- ◆ 若年性認知症サポートセンターゆえみ
(認知症対応型通所介護事業結び家開設準備を含む)

(2) 障害者・高齢者・認知症者に関する普及啓発事業

- ◆ 障害者の作品展示
- ◆ 障害者・高齢者・認知症者の福祉に関する研修会、講演会、イベントの開催
- ◆ 高齢者・認知症者を対象とした介護予防等に関する講習会、健康教室等の開催
- ◆ 法人後見の実施及び成年後見制度利用に関する支援
- ◆ 県市町村その他関係機関に対するもの忘れ検診機器の貸し出しと講師派遣
- ◆ 関係団体と連携した、認知症者の屋外徘徊を想定した模擬訓練の実施

収益事業 1

(1) 自動販売機等の設置及び不動産貸付事業

理事会・評議員会

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

精神疾患及び精神障害の予防並びに治療に係る研究に関する活動と、障害者や高齢者の社会生活全般に関する支援活動を行うとともに、心の健康を普遍化して偏見をなくした心豊かな社会づくりを目指すため、適正な法人の運営を行った。

【報告項目】

- ①理事会の開催
- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

【報告内容】

- ①理事会の開催

定期的に理事会を 5 回開催した

	開催日	議案
第 1 回理事会	5 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 25 年度事業報告について承認を受ける件 ● 平成 25 年度決算報告について承認を受ける件 ● 土地の購入について承認を受ける件 ● 収益事業等内容の変更認定申請について承認を受ける件 ● 定款の変更について承認を受ける件 ● 理事の任期満了に伴う新理事候補者の推薦案について承認を受ける件
第 2 回理事会	5 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 代表理事の選定
第 3 回理事会	8 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 八戸市地域密着型サービス事業（認知症対応型通所介護事業）の事業所増改修の入札参加業者の選定について承認を受ける件
第 4 回理事会	11 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ● グループホーム増設に係る土地の購入及び新築工事について承認を受ける件
第 5 回理事会	3 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業廃止及び新事業開始の変更認定申請及び変更届について承認を受ける件 ● 平成 27 年度事業計画案について承認を受ける件 ● 平成 27 年度収支予算案について承認を受ける件 ● 平成 27 年度資金調達及び設備投資について承認を受ける件 ● 平成 27 年度利益相反取引について承認を受ける件 ● 平成 26 年度第 3 回臨時評議員会の招集について

- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

定時評議員会の他、臨時評議員会を 3 回開催した

	開催日	議案
定時評議員会	5 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 25 年度事業報告について意見具申と承認を受ける件 ● 平成 25 年度決算報告について意見具申と承認を受ける件 ● 土地の購入について意見具申承認を受ける件 ● 収益事業等内容の変更認定申請について意見具申と承認

		を受ける件について ● 定款の変更について意見具申と承認を受ける件について ● 理事の任期満了に伴う新理事の選任
第 1 回 臨時評議員 会	5 月 24 日	● 代表理事の報酬額の決定
第 2 回 臨時評議員 会	6 月 22 日	● グループホーム増設に係る土地の購入及び新築工事について意見具申と承認を受ける件 ● 中間決算報告について意見具申と承認を受ける件 ● 補正予算案について意見具申と承認を受ける件
第 3 回 臨時評議員 会	3 月 28 日	● 平成 27 年度事業計画案について意見具申と承認を受ける件 ● 平成 27 年度収支予算案について試験具申と承認を受ける件 ● 平成 27 年度資金調達及び設備投資の見込み書類について意見具申と承認を受ける件

◆地域生活支援センター青明舎

報告担当者 センター長 中居則子

【報告概要】

障害者及び家族からの来所相談・電話相談・訪問相談を行い、生活全般・医療相談・日常生活上の悩み事等へ、必要な情報の提供及び助言、解決を講じる支援計画を作成し、相談内容にかかわる機関との連絡調整を行うことで相談内容の解決を図った。その他、障害者の虐待や障害児・多問題ケースへの相談・直接支援や権利擁護にも取り組んだ。相談受付については、各種障害の特性に応じて家族、医療・福祉機関、地域住民、公的機関からの相談も受け付けた。また在宅の障害者の社会参加を目指し、当センター活動室において、創作的活動の機会の提供、地域社会との交流の促進を図り、障害者・ボランティア・家族・地域住民が気軽に立ち寄れる環境づくりを行った。これらを実施することで、障害者がより円滑に地域生活を送ることができるよう支援することを目的として事業を行った。

【報告項目】

- ①相談支援事業
- ②地域活動支援センター I 型事業
- ③指定特定相談支援事業 (サービス利用支援・継続利用支援)
- ④指定一般相談支援事業 (地域移行支援・地域定着支援)

【報告内容】

①相談支援事業

1) 相談支援事業

訪問、来所相談、電話相談にて以下の相談に応じた。

- ・福祉サービスの利用援助に関する事
- ・社会資源を活用するための支援に関する事
- ・社会生活力を高めるための支援に関する事
- ・ピアカウンセリングに関する事
- ・権利擁護のために必要な援助に関する事
- ・専門機関の紹介に関する事

必要に応じて、同行や関係機関との連絡調整、個別ケア会議を実施した。

委託市町村には、毎月実績報告を提出した。

月	行動報告	
	支援内容	年間延べ利用件数
随時	訪問	542 件
	来所相談	6274 件
	同行	79 件
	電話相談	1037 件
	関係機関との連絡調整	1671 件
	個別ケア会議	24 件
	訪問、来所、同行、電話相談等の対応	

※相談支援専門員 現任者研修は該当者がおらず、今年度は参加していない。

2) 相談支援機能強化事業

相談支援機能の強化を図るため、一般的な相談支援事業に加え、相談支援事業が適切かつ円滑に実施されるよう、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行った。

月	行動報告
随時	必要に応じ、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行う。

3) 地域自立支援協議会（個別ケア会議）への参加

月	行動報告
5月12日 1月19日	八戸市地域自立支援協議会担当者会議
6月23日 11月5日 2月16日	八戸市障害者相談支援事業者連絡会議

4) 入居等支援事業

賃貸契約による一般住居を希望しているが保証人がいない等の理由により入居が困難な方に、必要な調整等の支援を行った。

月	行動報告
随時	関係機関との連絡・調整等、地域生活の支援、緊急時の対応・支援 ※登録者：7名 ※年間延べ利用件数：87件

5) 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が認められる知的障害者又は精神障害者に対し、申立て等について、各市町村と連携をとりながら支援する予定であったが、対象者がおらず実施していない。

②地域活動支援センター I 型事業

1) プログラム活動の企画・運営

活動室を開放し、社会生活に必要なスキルの維持・向上を図るプログラムを実施。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成
毎月	プログラム活動月間予定表の作成
通年	活動室の開放、メンテナンス

2) 余暇活動（行事、イベント）の企画・運営

生活のしづらさを感じやすい障害者や、引きこもり等、既存の社会資源を利用できない層の相談窓口となり、障害者と地域社会の交流を図った。

月	行動報告	参加数
4月	活動室年間スケジュールの作成	7名
5月	エコキッチンガーデン	6名
6月	ショッピングツアー	12名
7月	すこやか祭り（本部）	11名
8月	収穫祭	12名
9月	ぶどう狩り	19名
10月	ボーリング大会	10名

公益事業 1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

11月	ゲーム大会	7名
12月	もちつき大会（本部）	14名
1月	正月イベント	18名
2月	映画鑑賞会&お茶会	10名
3月	めっちゃうま大会	8名

3) 障害者サポーター養成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動

医療・福祉及び地域の社会的基盤との連携強化のための調整、障害者サポーター育成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動の事業を実施。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成、障害者サポーター登録、サポーターデータ管理表作成
6月21日	サポーター養成講座実施。 ※参加者6名。

4) ライフサポート

日常生活の支援、日常的な相談への対応、日常生活の質の向上と問題解決のための援助及び情報提供を実施。

月	行動報告	
4月	定期訪問者 訪問スケジュール作成	
随時	訪問、来所、同行、電話相談等の対応定期訪問者	
通年	入浴、洗濯、インターネット、食事作り、緊急時対応（オンコール）	
	支援内容	年間延べ利用件数
	入浴	680件
	洗濯	18件
	インターネット	28件
	食事作り	34件
	オンコール（夜間電話）	208件

③ 特定相談支援事業

サービス利用計画・障害児支援利用計画案等の作成、事業者との連絡調整及びサービス等の利用状況の検証を行い計画の見直しを行った。

月	行動報告
随時	相談支援・サービス利用計画作成・作成料請求業務
随時	モニタリング ※登録者：14名 ※年間延べ利用件数：184件

④ 指定一般相談支援事業

1) 地域移行支援

障害者支援施設等に入所している方や精神科病院に入院している方に対して、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談に応じた。

公益事業 1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業
 (1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

月	行動報告
随時	<ul style="list-style-type: none"> • 住居の確保その他の地域生活に移行するための支援に関する相談 • 地域生活への移行のための外出時の同行 • 障害福祉サービスの体験利用 • 体験宿泊 • 地域移行支援計画の作成 ※登録者：2名 ※年間延べ利用件数：22件

2) 地域定着支援

居宅において単身等の状況において生活する障害者等に対して、当該障害者等との常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態等において相談に応じる予定であったが、利用者は0名であった。

◆障害者就業・生活支援センターみさわ

報告担当者 センター長 坂下優子

【報告概要】

就職を希望する障害者、職場不適応により離職した障害者や離職のおそれがある在職中の障害者に対し、障害者就業・生活支援センターにおいて、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障害者の職業生活における自立を図ることを目的とした。また、生活支援担当職員が支援対象者の家庭等や職場を訪問し、支援対象障害者の生活上の相談等に応じ、就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行うことにより、障害者の就労継続を図ることを目的とした。

【報告項目】

- ① 雇用安定事業
- ② 生活支援等事業

【報告内容】

- ① 雇用安定事業
- 1) 障害者の就業支援

就職に向けた準備支援（職業準備訓練、職場実習のあっせん）、求職活動の支援、職場定着支援、事業所に対する障害者の障害特性を踏まえた雇用管理に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	職場実習場所の開拓、確保、職場実習の実施、事業所への説明、利用者への説明、短期職場実習制度の利用、求職活動支援、職場定着支援

- 2) 障害者の就業支援からみる生活支援 ※②生活支援等事業と連動

生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言、地域生活、生活設計に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	家庭・職場・実習先への訪問巡回、職場定着支援、利用登録の意志確認、在職者交流会

- 3) 目標件数の達成状況

目標件数設定項目	平成 26 年度 目標値	平成 26 年度 達成値	達成率
支援対象障害者数 (人)	180 人	237 人	132%
障害者に対する相談・支援件数 (件)	2,400 件	2,762 件	115%
職業準備訓練及び職場実習のあっせん件数 (件)	21 件	21 件	100%
就職件数 (件)	18 件	20 件	111%

- 4) 各関係機関との連携、情報交換、報告

事業が円滑かつ効果的に行われるように関係機関と連絡を密にし、連携体制を構築した。

月	行動報告
4月24日	第1回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
6月5日	第1回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施
6月20日	三沢地区障がい者就労支援連絡会総会参加
7月20日	青森第二高等養護学校進路講話会参加
7月随時	四者面談（青森第二高等養護学校）参加

公益事業 1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業
(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

8月8日	上北地区特別支援連携協議会参加
8月21日	第2回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
8月31日	第1回在職者交流会実施
9月1日	七戸養護学校キャリアチャレンジ(1)参加
9月6日	第2回在職者交流会実施
10月23日	障害者就職面接会後援、参加
11月21日	七戸養護学校 センターみさわ事業説明 来所
11月28日	青森第二高等養護学校 フライハイ 来所
12月1日	七戸養護学校キャリアチャレンジ(2)参加
12月16日	第2回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施
12月18日	第3回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
3月2日	第4回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
3月14日	第3回在職者交流会実施
3月22日	第4回在職者交流会実施
3月随時	移行支援会議(七戸、青森第二高等養護学校)参加
適宜	県内各障害者就業・生活支援センター事業連絡会議参加 特別支援学校生徒、企業実習の巡回協力実施 ハローワークとのチーム支援会議実施
毎月	地域自立支援協議会(三沢市・十和田市)参加

5) 啓発活動

月	行動報告
9月3日	青森県労政・能力開発課との優良事業所見学会(福島屋)共催
10月17日	三沢市福祉フェア後援、参加
2月9日	青森県労政・能力開発課との優良事業所見学会 (十和田ジーンズ)共催

② 生活支援等事業

1) 日常生活の自己管理に関する指導・助言

月	行動報告
随時	生活習慣の形成や日常生活の自己管理のための助言 健康管理や金銭管理等に関する指導・助言 保健医療機関、生活支援サービス利用の支援を実施

2) 地域生活に関する指導・助言

月	行動報告
随時	住居の確保や年金などの申請に関して助言 活用できる福祉サービスの利用調整を実施 就業後や休日における余暇活動について助言

3) 生活設計に関する指導・助言

月	行動報告
随時	長期的な視野での生活設計等について指導・助言 本人の自己選択・自己決定に関する助言

4) 家族、知人との関係の調整や緊急時の対応等の支援を行った。

5) その他就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行った。

◆こころすこやか財団グループホーム

報告担当者 管理者 秋山欣也

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業「共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同して自立した日常生活及び社会生活を営む事ができるよう援助し、障害者の福祉の増進を図った。

【報告項目】

- ①こころすこやか財団グループホームの運営
 「あおぞら（定員：女性 7 名）」「あおば（定員：男性 5 名）」「あおめ（定員：男性 6 名）」
- 1) 支援計画の作成及び提供
 - 2) 関係機関との情報共有及び連携
 - 3) 生活の質及び健康の維持
 - 4) 訓練等給付費請求・受領業務
 - 5) 利用者負担金及び生活費等の出納管理
 - 6) 訓練等給付の支給決定内容の管理
 - 7) 年間利用者状況

【報告内容】

- ①こころすこやか財団グループホームの運営
- 1) 支援計画の作成及び提供
 利用者の意向、適正、障害の特性を踏まえた生活支援計画を作成し提供するとともに、断続的な評価を実施し適切かつ効果的な援助を提供した。

実施月日	実施内容
4 月	アセスメント
4 月・10 月	生活支援計画の評価・生活支援計画の作成検討会議
4 月・10 月	生活支援計画の作成と同意・提供

- 2) 関係機関との情報共有及び連携
 利用者の意思及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供と、医療、関係機関、家族との連携、調整を行なった。

実施月日	実施内容
随時	通院の同行、関係機関への同行 家族との連絡、情報交換 ケア会議の実施、参加

- 3) 生活の質及び健康維持
 生活の質の向上と健康維持の為に援助を提供した。

実施月日	実施内容
26 年 10 月 28 日	夜間想定避難訓練
27 年 3 月 23 日	消防通報訓練・職員緊急連絡網による通報訓練
随時	服薬管理・健康管理・生活相談 建物管理・設備管理・大掃除支援等

4) 訓練等給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

月	行動計画
毎月	利用料金の徴収 国保連への請求 会計に関する諸記録の整備

5) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務、及び利用者負担上限額の管理事務

実施月日	実施内容
毎月 10 日・25 日	利用料金の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

6) 訓練等給付の支給決定内容の管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

7) 年間利用者状況

(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	あおぞら(女)定員7			あおば(男)定員5			あおめ(男)定員6		
	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数
H26.4月	2	0	7	1	0	5	0	0	6
5月	0	0	7	0	0	5	0	0	6
6月	0	0	7	0	0	5	0	0	6
7月	0	0	7	0	0	5	0	0	6
8月	0	0	7	0	0	5	0	0	6
9月	0	0	7	0	0	5	0	0	6
10月	0	0	7	0	0	5	0	0	6
11月	0	0	7	0	0	5	0	0	6
12月	0	0	7	0	0	5	0	0	6
H27.1月	0	0	7	0	0	5	0	0	6
2月	0	0	7	0	0	5	0	0	6
3月	0	0	7	0	0	5	0	0	6
延利用者数計	2	0	84	1	0	60	0	0	72

◆グループホーム青風荘

報告担当者 施設長 小坂和子

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「介護サービス包括型共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同で自立した日常生活または社会生活を営む事ができるよう日常生活上において必要となる援助を行い、生活能力の低下防止と生活の質の向上・自立の促進を図った。

【報告項目】

- ① グループホーム青風荘の運営（定員 20 名）
 - 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整
 - 2) 個別支援計画の作成、ケアマネジメントの実施
 - 3) 関係機関との情報共有及び連携
 - 4) 健康管理
 - 5) 非常災害対策
 - 6) 利用者負担金及び生活費等の出納管理
 - 7) 介護給付費請求・受領業務
 - 8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理
 - 9) 余暇活動支援
 - 10) 年間利用者状況

【報告内容】

- ① グループホーム青風荘の運営
 - 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整
 1 日を通して日常生活の質の向上・維持の為、利用者の意向を踏まえ、日常生活に必要なサービス（家事・相談・助言等）を 24 時間体制で提供した。

実施月日	実施内容
通年	夜間における排泄の介助や見守り 入浴・食事等の支援、洗濯及び掃除・買物等の身の回り や家事全般に関する相談や援助 公共機関利用の支援
随時	支援会議の実施

日中活動の場等との連絡・調整

実施月日	実施内容
毎週・月～金	通所リハビリテーションスタッフとの情報共有、及びプログラム参加の支援
随時	ケア会議への参加

- 2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施
 利用者・家族の現状やニーズなどを把握し、適切なサービスを提供した。

実施月日	実施内容
随時（6ヶ月以内）	モニタリング・アセスメント 個別支援計画書の作成及び更新 個別支援計画作成検討会議

3) 関係機関との情報共有及び連携

実施月日	実施内容
H26 年 8 月・H27 年 2 月	苦情処理における第三者委員会の開催
適宜	外来受診時における利用者の身体・精神状況の情報提供 及び同行支援 家族との連絡・面談及び情報交換 ケア会議への参加

4) 健康管理

定期検診の実施

実施月日	実施内容
朝・夕（毎日）	対象者のバイタル測定
毎月	糖尿病者対象（1 名）～血糖検査
H26 年 10 月	胸部 X-P（一般者 9 名）
H26 年 6 月	胸部 X-P（潜在性結核感染対象者 6 名）
H26 年 9 月	頭部 CT 検査（14 名）
H26 年 8 月	胸部 X-P（潜在性結核感染対象者 1 名）
H26 年 11 月	心電図（19 名）
H26 年 6 月	脳波（20 名）
H26 年 8 月・H27 年 3 月	定期採血（一般セット・全員）
H26 年 12 月	インフルエンザ予防接種（19 名）

5) 非常災害対策

実施月日	実施内容
H26 年 10 月	避難誘導訓練（夜間想定）
H27 年 2 月	避難誘導訓練（夜間想定）
H27 年 3 月	避難誘導訓練（夜間想定）
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検表の提出

6) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務

実施月日	実施内容
毎月	利用料の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

7) 介護給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等法定代理受領業務

実施月日	実施内容
毎月	国保連への請求・受領 会計に関する諸記録の整備

8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

9) 余暇活動支援

レクリエーションの実施

月	行動計画
8月	ぶどう狩り(三戸町)
12月	クリスマス忘年会(施設内)
H27年1月	新年会(施設内)
3月	調理教室・食事会(施設内)

10) 年間利用者状況(利用者数は毎月末日現在)

月	各月在所人数			入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H26.4月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
5月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
6月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
7月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
8月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
9月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
10月	10	10	20	1	0	1	1	0	0
11月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
12月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
H27.1月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
2月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
3月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
計	120	120	240	1	0	1	1	0	1

◆障害者生活訓練施設 青山荘

報告担当者 管理者 秋山欣也

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「自立訓練（生活訓練）事業」において、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上を目的に、食事や日常生活全般に関わる必要な生活訓練を提供し、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供し、また地域連携を図った。

【報告項目】

①障害者生活訓練施設青山荘の運営

(通所型生活訓練 定員 20 名 宿泊型生活訓練 定員 20 名)

- 1) 生活全般的な QOL 向上を図るためのプログラムの実施
- 2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施
- 3) 関係機関との情報共有及び連携
- 4) 生活の質向上・維持及び非常災害対策
- 5) 利用者負担金及び生活費等の出納管理
- 6) 訓練等給付費請求・受領業務
- 7) 訓練等給付費の支給決定内容の管理
- 8) 年間利用者状況

【報告内容】

①障害者生活訓練施設 青山荘の運営

- 1) 地域生活への動機付けやコミュニケーションスキルの習得、生活の基礎作り、及び生活全般的な QOL 向上を図るためのプログラムを実施した。

実施月日	実施内容
通年	疾病教室（健康管理・病状管理・ストレス対処技術等） 栄養教室 セルフケア指導（保清・身辺整理・身だしなみ・掃除等） 安全・危機管理（防災、盗難・詐欺、消費者トラブル等） 金銭管理 地域生活に向けての目標設定（住居プラン等） 各種公共機関利用活動 買い物 調理教室 創作活動 趣味活動 訓練外出・泊 余暇活動 コミュニケーションスキル向上等に関するプログラムを実施
適宜	生活全般に関する相談支援

- 2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施

利用者・家族の現状やニーズなどを把握し、適切なケアマネジメントを行った。

実施月日	実施内容
随時	面談・アセスメント・個別支援計画書の作成及び更新 モニタリング・個別支援計画作成検討会議

3) 関係機関との情報共有及び連携

利用者の意志及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供及び医療、関係機関、家族との密接な連携を行った。

実施月日	実施内容
H26年8月 H27年2月	第三者委員会の開催
適宜	通院時の同行支援及び情報提供 関係機関との情報共有 家族との連絡・面談及び情報交換 (H26年9月・H27年2月 家族交流会開催) ケア会議への参加
随時	支援会議の実施

4) 生活の質向上・維持及び非常災害対策

実施月日	実施内容
H26年10月	夜間緊急時連絡訓練(利用者)及び避難訓練
H27年2月	避難誘導訓練(夜間想定 スタッフ不在時)
H27年3月	避難誘導訓練(夜間想定 スタッフ在所時)
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	平成26年度分の消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検票の提出

5) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務

実施月日	実施内容
毎月	利用料金の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

6) 訓練等給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等の法定代理受領業務

月	行動計画
毎月	国保連への請求 代理受領

7) 訓練等給付費の支給決定内容の管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き(代行) 利用者負担上限額更新手続き

8) 年間利用者状況

I. 「宿泊型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月訓練利用者数			新規訓練利用者数			訓練利用終了者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H26.4月	8	2	10	1	0	1	0	0	0
5月	10	2	12	2	0	2	0	0	0
6月	10	2	12	0	0	0	0	0	0
7月	10	3	13	0	1	1	0	0	0
8月	10	3	13	0	0	0	0	0	0
9月	10	3	13	0	0	0	1	1	2

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業

(1) 障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

10月	8	2	10	0	0	0	1	0	1
11月	10	3	13	2	1	3	0	0	0
12月	10	4	14	0	1	1	0	0	0
H27.1月	10	4	14	1	0	1	1	0	1
2月	10	4	14	0	0	0	0	0	0
3月	10	3	13	0	0	0	1	1	2
計	116	35	151	6	3	9	4	2	6
年間平均利用数			11.4						

II. 「通所型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月訓練利用者数				新規訓練利用者			訓練利用終了者		
	登録者数				男	女	計	男	女	計
	男	女	計	平均利用数						
H26.4月	10	4	14	9.2	1	0	1	0	0	0
5月	11	5	16	9.3	2	0	2	1	0	1
6月	11	5	16	10.7	0	0	0	0	0	0
7月	11	6	17	11.1	0	1	1	0	0	0
8月	11	6	17	11.0	0	0	0	0	0	0
9月	11	6	17	10.8	0	0	0	0	1	1
10月	10	8	18	8.5	0	1	1	1	0	1
11月	12	7	19	9.4	3	0	3	0	0	0
12月	12	7	19	9.0	0	0	0	0	0	0
H27.1月	11	9	20	12.3	1	0	1	1	0	1
2月	11	9	20	13.2	0	0	0	0	0	0
3月	10	8	18	13.2	0	0	0	2	1	3
計	131	80	211	10.6	7	2	9	5	2	7

◆障害者就労移行支援事業

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「就労移行支援事業」において、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上、また社会経済活動への参加のための就労訓練を行い、社会参加を促進すると共に障害者の自立した生活を助長するため障害者就労移行支援事業所の立ち上げに関する検討を行った。

【報告項目】

- ① 障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備

【報告内容】

- ① 障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備

- 1) 設置場所の検討

設置場所に適当な物件を探すことができなかったため、次年度の課題となった。

- 2) 立ち上げスケジュールの作成

設置場所が確定されなかったことにより、スケジュールの検討はされなかった。

- 3) 立ち上げ時期の検討

平成28年度中に開催できるよう準備を進めていくこととした。

◆在宅介護支援センターたえみ（多笑）

報告担当者 是川幸恵

【事業報告】

地域の高齢者世帯、独居、要介護状態となるおそれのある高齢者又はその家族等に対して、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、家族の介護等に関するニーズに対応した各種の保健、医療、福祉サービス（介護保険を含む）が総合的に受けられるよう各関係機関との連携を図り、常に最適な援助が利用できるような支援する事を目的として事業を行った。また、地域の高齢者見守りネットワーク構築や生活・介護支援サポーターを育成し、高齢者福祉の増進を図った。

【報告項目】

- ① 高齢者実態把握事業
- ② 介護予防プラン作成事業
- ③ 介護予防教室事業
- ④ 高齢者見守りネットワーク事業
- ⑤ ボランティア育成・活用事業
- ⑥ 生活・介護支援サポーター事業

【報告内容】

① 高齢者実態把握事業

- 1) 担当地区の特定高齢者及び一般高齢者に対し、心身・その他についての生活状況の把握を行った。

月	実施内容		
H26年4月～H27年3月	担当地区において241件訪問実施		
担当地区	一次予防対象者	二次予防対象者	計
田面木	46名	53名	99名
館	36名	48名	84名
豊崎	31名	27名	58名
合計	241名		

- 2) 民生児童委員定例会議への参加し、担当地区（田面木、館、豊崎）民生児童委員と地域住民の情報交換を行った。

月	実施内容	計
毎月第2土曜日	田面木地区民生児童委員定例会議出席	11回
毎月10日	館地区民生児童委員定例会議出席	11回
	合計	22回

② 介護予防プラン作成事業

- 1) 実態把握で訪問した高齢者を対象に要介護状態を防ぐために予防プランを作成した。

担当地区	一次予防対象者	二次予防対象者	計
田面木	46名	53名	99名
館	36名	48名	84名
豊崎	31名	27名	58名
合計	241名		

③ 介護予防教室事業

- 1) 地域住民が交流し、かつ要介護状態にならないよう介護予防教室を実施した。

田面木	10回
館	3回

豊崎	13回
合計	26回

④高齢者見守りネットワーク事業

- 1) 町内会・地区社協・民生委員・ほのぼの交流協力員等と連携し、独居や高齢世帯の住民が安心して暮らせる町づくりを目指し、見守りネットワークを構築する。

上田面木地区見守りネットワーク連絡会議の開催	4回
南田面木地区見守りネットワーク連絡会議の開催	2回
合計	6回

⑤ボランティアの育成・活用事業

- 1) 地区民生委員やほのぼの交流協力員に対し、認知症理解等についてのボランティア育成講座を開催した。
- 2) 介護予防教室の援助や高齢者地域見守りネットワークにおける見守り協力員としてそれぞれ活用した。地域住民対象にボランティア育成の一環として認知症サポーター養成講座を実施した。

月	実施内容
H26年10月	田面木地区社会福祉協議会主催の田面木まごころネットワークのプログラムの中で認知症サポーター養成講座の開催
通年	介護予防教室開催に伴い、ボランティアの依頼
通年	見守り隊員として、地域の高齢者の見守りを実施

⑥生活・介護支援サポーター養成事業

- 1) 高齢者が地域で安心して生活するため、地域住民からサポーターを地域で活用するために養成事業を行った。

・養成対象地区及び人数：南郷区在住の7名を養成した

実施日	実施内容
H26年11月21日	地域資源を知ろう（研修） 講師：社会福祉協議会 御厨一之
	高齢者疑似体験（研修） 講師：社会福祉協議会 御厨一之
11月28日	コミュニケーションってどんなこと？（研修） 講師：八戸プラザホテル 方波見茂
	守らなければならないこと～守秘義務について～（研修） 講師：こころすこやか財団 中居則子
12月5日	自分を知ろう（研修） 講師：心理士 盛田沙織
H27年1月20日	介護予防教室「リズムに合わせて動いて笑って3B体操」（演習） 講師：3B体操協会 佐藤 佐知子
1月27日	介護予防教室「らくらく体操で若返ろう運動」（演習） 講師：健康運動指導士 小西池郁子
2月18日	認知症サポーター養成講座（演習） 講師：こころすこやか財団 松倉典子

◆サービス付高齢者向け住宅 悠湯の里

報告担当者 福士一

【報告概要】

医療法人青仁会からの請負により、高齢者が地域で安心して生活ができるようサービス付高齢者向け住宅において、介護保険制度のサービス利用だけでは不足する見守りや生活相談などの支援サービスを実施した。また、身体機能の低下に対応する住まいの安全確保及び孤立防止を行い、高齢となっても生活の質を低下させない地域支援を目指した。

【報告項目】

- ①相談支援
- ②安全確保と24時間見守りサービスの提供
- ③有料サービスの提供
- ④悠湯クラブの実施

【報告内容】

①相談支援

1) 入居相談

入居希望者に対し、居住スペース等の見学を実施。入居希望者については入居者のADL・IADLを評価し、介護保険、見守りサービス、有料サービスの提供により、生活可能であるかを確認のうえ、安全性の確保された住居を提供した。

月	相談件数	入居者数	退居者数	累計	賃貸数
H26年4月	0件	0名	1名	28名	27室
H26年5月	0件	0名	1名	27名	26室
H26年6月	2件	0名	1名	26名	25室
H26年7月	0件	1名	1名	26名	25室
H26年8月	1件	0名	2名	25名	24室
H26年9月	2件	0名	0名	23名	22室
H26年10月	3件	0名	1(同室)名	23名	22室
H26年11月	1件	1名	0名	23名	23室
H26年12月	2件	3(同室)名	0名	26名	25室
H27年1月	2件	1名	1名	28名	27室
H27年2月	2件	3名	1名	29名	28室
H27年3月	1件	1名	0名	29名	28室

2) 生活相談

入居者が生活する上での困りごとに対する相談を実施。必要に応じて各関係機関と連携し社会資源の活用を図った。

②安全確保と24時間見守りサービスの提供

日中帯に1名以上、夜間帯に1名見守りスタッフを配置することで、緊急時等に対応できる体制を確保し、また入居者と何気ない会話を持つことで、入居者の孤独感の解消に努めた。また館内の環境維持の為に設備の点検等を行った。

実施日	実施内容
随時	入居者の見守り
4月・10月	設備、建具点検(内容によって、自己負担)
7月	エアコン清掃の案内と実施(有料サービス)
10月	ストーブ清掃の案内と実施(有料サービス)

適宜	緊急時対応（24時間）
適時（3ヶ月毎）	緊急時対応見直し、消防設備自主点検
H26.11.12	第1回避難訓練（入居者及びスタッフ）
H27.3.26	第2回避難訓練（入居者及びスタッフ）

③有料サービスの提供

介護保険サービスを利用していない入居者または、介護保険サービスでは補えないサービスについて、入居者またはその家族等の合意のもと、有料でサービスを提供した。

実施月	利用者数
H26年4月	19名
H26年5月	20名
H26年6月	20名
H26年7月	19名
H26年8月	20名
H26年9月	18名
H26年10月	17名
H26年11月	15名
H26年12月	16名
H27年1月	20名
H27年2月	17名
H27年3月	17名

④悠湯クラブの実施

入居者同士の交流の場、日中活動の場の提供を目的とし、入居者同士が交流できるように悠湯クラブを行った。

実施日	実施内容	参加者数
H26.4.13	演芸会「東一番町の婦人部様慰問」	18名
H26.4.20	料理教室「けんちん汁」	17名
H26.5.18	映画鑑賞会「母ちゃん」	7名
H26.5.25	料理教室「バイキング」	19名
H26.6.8	映画鑑賞会「バリの恋人」	10名
H26.6.29	料理教室「カレーライス」	12名
H26.7.13	映画鑑賞会「どら平太」	8名
H26.7.27	料理教室「ぎょうざ」	10名
H26.8.10	夕涼み会	22名
H26.9.7	映画鑑賞会「永遠の0」	8名
H26.9.21	料理教室「せんべい汁」	10名
H26.10.12	おもてなし会	7名
H26.11.16	おもてなし会	10名
H26.12.7	映画鑑賞会「人生いろいろ」	10名
H26.12.28	もちつき会	入居者・ご家族
H27.1.18	映画「びっくり五十三次」	9名
H27.2.15	映画鑑賞会「くじけないで」	8名
H27.3.15	映画鑑賞会「寝ずの番」	5名

◆若年性認知症サポートセンターゆえみ（結笑）

報告担当者 松倉典子

【報告概要】

若年性認知症者を対象に週2回程度の通所サービスを提供した。また若年性認知症の特性に配慮した介護及び生活援助の提供を行い、その状態に応じた適切な支援を提供した。その他、各種制度を利用するための相談等に応じ、若年性認知症者及びその家族が安心して生活が送れるように支援した。

【報告項目】

- ① 通所支援サービスの実施
- ② 相談支援の実施
- ③ 若年性認知症サロンゆうき

【報告内容】

- ① 通所支援サービスの実施（毎週火・木曜日）…利用登録者 12 名
 - ・アルツハイマー型認知症疑い、脳血管性認知症疑いの方を含め、介護保険未申請の方や障害者手帳の有無に関わらず、認知機能に問題があると思われる 64 歳以下で発症した方を対象に、若年性認知症者の特性に適したサービスを提供した。
 - ・火曜日・木曜日とも利用登録者は 10 名である（重複利用を含む）。
 - ・新規登録者 3 名、退所者は 2 名（再就労・認知症対応型通所介護へ移行）である。

	行動報告		
	活動日数	延参加人数	活動内容
毎週火曜日	51 日	345 人	・草刈りや環境整備等収入の得られる業務 ・イベント出店用作品（革・ガラス細工・ヒバ 匂袋・マグネット・メタッド・八幡馬ストラップ等）の作製
毎週木曜日	51 日	269 人	・脳リハビリ（数学・書写・間違探し等）の実施 ・趣味活動（調理・運動・外出・折り紙・貼り絵・書道等）の実施

② 相談支援の実施

・若年性認知症者及びその家族並びにサービス提供事業所職員等を対象に、日常の困り事や対応の仕方等の相談支援を実施した。

開催日	場所	実施内容	当事者	ご家族	ボランティア	見学者
H26.4.12	こころすこやか会館	ワガうどん/メヌケ作製	5	5	0	0
H26.5.10	外出ツアー（道の駅おおの・道の駅くじ・種市産直）		6	5	0	0
H26.6.14	こころすこやか会館	丼/南蛮/ワガネット作製	6	7	0	0
H26.7.12	こころすこやか会館	バーベキュー/つどい	6	5	0	2
H26.8.9	こころすこやか会館	冷やし中華/ワガネット作製	6	6	2	0
H26.9.13	こころすこやか会館	ワガ イチ/ワガネット作製	6	4	2	0
H 26.10.11	こころすこやか会館	カレーライス/ワガネット作製	6	5	0	0
H26.11.8	こころすこやか会館	豚汁/ヒバ 匂袋作製	6	5	0	0
H 26.12.13	こころすこやか会館	ビームチュー/しめ飾り作製	6	4	0	0
H27.1.10	こころすこやか会館	ちらし寿司/ワガネット作製	6	5	0	0
H27.2.14	こころすこやか会館	餃子/ヒバ 匂袋作製	5	3	0	0
H27.3.14	こころすこやか会館	クリームチュー/つどい	6	5	0	1

・利用相談は4件あり、そのうち利用につながった件数は3件である。

月	行動報告	
	相談件数	相談内容
H26年4月1日～ H27年3月31日	161件	ゆえみ利用・健康や生活・家計や経済・医療・福祉サービス利用に関する事等・情報共有等

③ 若年性認知症サロンゆうき

1) すこやかサロンゆうき

2) 家族支援として個別相談・勉強会を実施

実施日	実施内容	対応者
H26.4.14	サービス付き高齢者住宅への入居について	鈴木
H26.6.14	介護保険サービス利用について	鈴木
H26.7.12	認知症の薬について	青森大学 大上教授
H26.8.9	障害年金受給・更新手続きについて	松倉
H26.12.13	施設入居中の他者への迷惑行為について	鈴木
H27.1.10	介護保険申請について	鈴木
H27.2.14	認知症対応型通所介護について	松倉・福土

◆結び家

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供し、利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰りで提供することにより、自宅にこもりきりの利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などを目的とし、事業立ち上げを行った。

【報告項目】

- ④ 認知症対応型通所介護事業所開設準備
- ⑤ 通所支援事業
- ⑥ 相談支援事業
- ⑦ スタッフ教育

【報告内容】

① 開設準備・開設

- 1) 下記の通り、エレベーター・スプリンクラーの設置、及び消防基準に即した内装工事等を行い、開設に向けて準備を行った。

開設場所：八戸市尻内町島田 13-1

開設日：平成 27 年 4 月 1 日

実施月	実施内容
平成 26 年 9 月	補助金決定
平成 26 年 10 月	内装工事等開始
平成 26 年 10 月～翌 3 月	必要物品購入
平成 27 年 1 月～3 月	利用相談シート・利用契約書等利用に際し必要な書類の作成
平成 27 年 1 月～3 月	介護保険請求ソフト検討
平成 27 年 3 月	広報活動：市内居宅介護支援事業所等への周知リーフレットの作成
平成 27 年 3 月 21 日 ～25 日	居宅介護支援事業所・地域住民に対し、見学会を実施。
平成 27 年 2 月～	利用者支援：ゆえみ利用者の介護保険申請について支援。利用者がスムーズに認知症対応型通所介護を利用できるよう支援を実施した。

② 通所支援事業

- 1) 補助金の支給決定時期にあわせ、内装工事等が始まったため、今年度の通所支援は実施されなかった。
- 2) 在宅生活を支えるための地域・家族交流の実施
 - 1) 同様、26 年度中の開設に至らなかったため、地域・家族交流は実施されなかった。
- 3) 安定した収入の確保

実施月	実施内容
平成 27 年 3 月	居宅介護支援事業所を中心に広報活動を実施。

③ 相談支援事業

若年性認知症サポートセンターゆえみの利用者に対し、介護保険申請について支援を実施した。

実施月	実施内容
平成27年2月～3月	2名の利用者に対し、介護保険申請支援を実施。

④ スタッフ教育

事業の開設日にあわせて以下の研修を実施した

実施月	実施内容
平成27年3月	内部研修 配置の決定している職員に対し、各研修を実施。

◆精神疾患・精神障害、認知症に関する調査・研究、啓発

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

精神疾患、認知症に関する偏見除去及び発症の予防知識の普及を行い、高齢者と障害者の社会参加を啓発広報する事業を行った。

【報告項目】

- ①精神疾患及び認知症に関する偏見除去活動の実施
- ②認知症検診機器のデータのとりまとめと認知症発症に関する研究調査活動の実施
- ③精神疾患および認知症に関する研究データの刊行・広報の実施
- ④精神障害者・認知症者に対応する事例集の作成等

【報告内容】

①精神疾患及び認知症に関する偏見除去活動の実施

偏見除去に関する当事者ニーズの把握とそれに基づく活動計画により地域住民や関係機関への啓発教育及び障害者ボランティア講座を開催し偏見除去の啓発広報を行った。

- 1) 障害者サポーターの養成
 地域生活支援センター青明舎において、サポーター養成講座を実施
- 2) 生活・介護支援サポーターの養成
 在宅介護支援センターたえみにおいて、八戸市高齢者生活支援サポーター養成講座を実施
- 3) 障害者・高齢者に関する講演会の開催
 法人主催によるイベントの開催

実施月	実施内容	参加者数
8月23日	すこやか祭り ・地域住民によるステージ発表 ・飲食・ゲーム等の屋台 ・障害者、高齢者サポーターやボランティア実践の場 ・精神障害者、認知症者の理解と普及 (活動内容の展示個別相談、作品展示、販売など)	272名
12月23日	もちつき大会 ・地域住民の協力によるもちつき、販売 ・障害者、高齢者サポーターやボランティア実践の場 ・精神障害者、認知症者の理解と普及 (活動内容の展示、作品展示、販売など)	72名

②認知症検診機器のデータのとりまとめと認知症発症に関する研究調査活動の実施

専門医療機関への早期受診・早期診断についての結果の取りまとめを行う予定であったが、行わなかった。

③精神疾患および認知症に関する研究データの刊行・広報

精神疾患においての刊行等は実施されなかった。認知症については、認知症の人と家族の会と協力し「こなゆき」の刊行に携わった。26年度は研究発表については行われなかった。

④精神障害者・認知症者に対応する事例集の作成等

精神障害者・認知症者に関する事例集の作成には至らなかった。

◆認知症事例検討会

報告担当者 福士一

【報告概要】

認知症者になってもその人らしく生活していくために、どのような支援が必要か、またどのような体制が必要かを事例をもとに検証し、認知症者の処遇の向上を目指した。

【報告項目】

- ①地域で認知症に携わっている専門職員等と、事例検討会を実施。

【報告内容】

- ①地域で認知症に携わっている専門職員等と、事例検討会を実施。
 1) 市内の福祉専門職員を対象に、認知症の事例を基に各事業所での対応の仕方等を検討し、検討会を運営した。

実施日	テーマ	案内数	参加施設	参加者数
H27.2.5	口腔ケアの基礎知識 (認知症、リハビリの関係)	65 施設	12 施設	18 名

◆障害者の作品展示

報告担当者 秋山欣也

【報告概要】

障害者の美術作品の発表・展示の場を提供し、障害者の教養を高め、自主活動の育成を図り、登録した地域住民及び専門職等に対し公開した。

【報告項目】

- ①障害者への作品募集
- ②障害者の作品展示

【報告内容】

- ①障害者への作品募集

障害者を支援する関係機関へ、当事業周知のための広報活動を行った。

実施月	実施内容
随時	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の案内を通じて作品の募集を行った ・若年性認知症サポートセンターゆえみの利用者への募集を行った ・ホームページで広報した

- ②障害者の作品展示

常設展示作品に触れる機会を設けることで、より多くの人に病気や障害についての理解を深めてもらった。

月	行動計画
H26年7月19日	法人主催の講演会開催に伴う作品展示
H27年3月7日	法人主催の講演会開催に伴い作品展示 障害者支援施設関係者・一般参加者 計60名
随時	常設展示

◆認知症徘徊 SOS 模擬訓練

報告担当者 福士一

【報告概要】

認知症になっても安心して暮らせるまちなにすることが地域住民の目的であり、同じ田面木地区で活動する法人として、地域の方々と共同で徘徊 SOS 模擬訓練を行なった。模擬訓練では搜索方法と徘徊者への声掛けの方法を学び、地域住民が支援者として活躍できることを目指した。

【報告項目】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。
- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動並びに立ち上げ協力、組織化への支援を実施。

【報告内容】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

1) 認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

田面木地区社会福祉協議会、田面木地区町内会等と訓練内容と日時について検討した。ネットワーク拡充と今後の地域力向上を目的に田面木小学校へ活動内容の紹介と協力の依頼を行い、田面木小学校から8名の学童が参加した。

実施日	実施内容	備考
H26.7.15	田面木民生委員会議にて事前会議日の調整	-
H26.7.20	連合町内会長へ事前会議日の調整	-
H26.7.27	企画書提出	-
H26.8.25	田面木まごころネットワーク事前会議	参加者 20 名
H26.9.9	八戸警察署生活安全課 講演依頼	
H26.9.10	モデル徘徊者ボランティアの募集（福祉関係者）	3 施設
H26.9.13	町内回覧板依頼 1 回目（5 町内）	138 部
H26.9.15	第 2 回打合せ（事務局のみ）	-
H26.9.15	取材依頼（5 社）	当日取材 3 社
H26.10.10	田面木婦人会会長と炊き出しについて打合せ	
H26.10.26	田面木まごころネットワーク認知症徘徊 SOS 模擬訓練実施	参加者 62 名

※当日取材：NHK、デーリー東北、東奥日報

2) 認知症サポーター養成講座の実施。

実施日	実施内容
H26.10.5	田面木小学校 4 年生対象に認知症サポーター養成講座実施

- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動ならびに立ち上げ協力、組織化への支援を実施した。

実施日	実施項目	実施内容
H26.5.9	活動紹介	地区社会福祉協議会の事務局長会議にて、田面木まごころネットワークの活動紹介を行った。
H26.5.27	活動紹介	認知症サポーター養成講座（鷗盟大学）にて、地域における認知症支援として、田面木まごころネットワークの紹介を行った。
H26.7.19	展示紹介	第 1 回啓発講演会にて、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業
 (2) 障害者・高齢者・認知症者に関する普及啓発事業

H26.8.23	展示紹介	法人主催のすこやか祭りにて、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H26.8.24	展示紹介	市主催の認知症フォーラムにてブースの出展依頼があり、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H26.9.13	展示紹介	医療法人青仁会のふれあい秋祭りに田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H26.9.28	展示紹介	田面木公民館祭りにて、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H26.10.5	活動紹介	サポーター養成講座（有料老人ホームほおずき）にて、地域における認知症支援として、田面木まごころネットワークの紹介を行った。
H26.10.12	展示紹介	青森大学で行われた認知症文化祭から依頼を受け、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H26.11.7	活動紹介	大鰐町で行われた認知症徘徊模擬訓練の事前研修にて、依頼を受け、地域における認知症支援と題し、田面木まごころネットワークの活動紹介を行った。
H26.11.26	活動紹介	下北にて、介護福祉従事者を対象にした認知症研修にて、田面木まごころネットワークの活動紹介を行った。
H26.11.28	展示紹介	大鰐町で行われた認知症徘徊模擬訓練にて、ブース依頼があり、田面木まごころネットワークの活動ポスターとムービーを上映。
H27.3.7	展示紹介	法人主催の啓発講演会にて、田面木まごころネットワークの活動ポスター展示とムービーを上映。
H27.3.10	活動紹介	サポーター養成講座（根城地区住民）にて、地域における認知症支援として、田面木まごころネットワークの紹介を行った。

◆障害者及び高齢者の福祉に関する研修会の開催

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

障害者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、障害者・高齢者の地域支援に関連した講演会等を実施した。

【報告項目】

- ① 講演会・研修会の実施。地域福祉のネットワークづくりの実施
- ② 高齢者・障害者を支える家族、専門職員を対象にした講習会等の実施
- ③ 「成年後見制度」に基づく権利擁護について、研修会の実施

【報告内容】

- ① 講演会・研修会の実施。地域福祉のネットワークづくりの実施。
 - 1) 高齢者・障害者の地域生活支援に関する専門分野の講師に依頼し、地域支援の展開、具体的な実施方法等について講演会を開催した。

実施月日	実施内容	参加者
7月19日	講演会 ①講演1 「介護をする側の思い、される側の思い ～老いや障害を受け入れること～」 講師：田中 晶氏（TKG（十日町介護グループ）代表） ②講演2 「希望が生まれる施設を創る ～環境から考えるケアとは～」 講師：山下 総司氏（シルバー総合研究所研究員）	106名
3月7日	講演会 「障害者が地域で安心して暮らせるために ～安心生活支援事業の実践から～」 講師：片桐 公彦氏 （社会福祉法人みんなでいきる 副理事長）	60名

- 2) 高齢者、障害者本人、家族、地域住民、公的機関の職員との連携、協働による地域福祉の地域づくりを行った。

実施月日	実施内容	従事職員
8月24日	八戸認知症フォーラム	松倉 福士 是川
11月2日	認知症の人と家族の会全国研究集会	松倉 福士

- ②高齢者・障害者を支える家族、専門職員を対象にした講習会等の実施。

実施日	講演内容	対象者	参加者数	担当職員
6月24日	認知症サポーター養成講座	鷗盟大学	74	松倉 福士
10月5日	認知症サポーター養成講座	是川地区住民	10	福士
10月9日	認知症サポーター養成講座	田面木小学校 4年生	36	松倉 福士
11月7日	徘徊認知症の方を守るために	大鰐町地区主要団体 代表者	12	松倉

公益事業1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業
 (2) 障害者・高齢者・認知症者に関する普及啓発事業

11月20日	誰もが安心して暮らせる地域をみんなで作ろう	五戸町住民	83	松倉
11月26日	認知症・若年性認知症の方への関わり方	むつ老協会員	113	松倉
11月28日	すこやか見守りネットワーク～訓練のポイント～	大鰐町住民	34	松倉
2月24日	若年性認知症実務者研修 若年性認知症実態調査報告	県内介護従事者	72	松倉
3月10日	認知症サポーター養成講座	根城地区住民	26	福土
3月11日	誰もが安心して暮らせる地域をみんなで作ろう	県民児協	60	松倉

③「成年後見制度」に基づく権利擁護についての研修会の実施。

今年度の「成年後見制度」に基づく権利擁護についての研修会は実施されなかった。

◆介護予防

報告担当者 福士一

【報告概要】

地域の方々が必要介護状態になることを予防し、地域住民一人ひとりが健康維持について高い意識を持ち、仲間作りをすることで高齢者の閉じこもりを予防することを目的とした。その中で認知症サポーター養成講座や介護に関する啓発活動を行なった。

【報告項目】

- ①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムの実施

【報告内容】

- ①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施。

- 1) 市内の在宅介護支援センター及び当法人在宅介護支援センターと協力しながら、高齢者を対象とした介護予防等に関連した講演会や健康教室を実施。要介護状態になることを防止するために、在宅高齢者向けに予防教室等を開催した。

実施日	対象者	参加者数	担当職員
H26.4.24	介護予防教室（ももとせサロン）	35名	松倉典子
H26.4.27	介護教室（東北温泉）	27名	福士一
H26.5.9	七崎介護予防教室	12名	松倉典子
H26.5.22	ももとせサロン	37名	松倉典子
H26.6.6	介護予防教室松園・中田面木	31名	福士一
H26.6.28	南田面木ほっとサロン	28名	福士一
H26.8.9	松園町介護予防教室	35名	福士一
H26.10.10	七崎介護予防教室	11名	鈴木厚子
H26.10.24	七崎介護予防教室	11名	鈴木厚子
H26.11.14	七崎介護予防教室	9名	鈴木厚子
H26.11.16	上田面木介護予防教室	32	福士一
H26.11.28	七崎介護予防教室	10名	福士一
H27.3.26	下田面木介護予防教室	35名	福士一

成年後見制度の利用に関する支援

報告担当者 代表理事 松倉典子

【報告概要】

個人の尊厳を重視する権利擁護活動において、権利擁護の推進を図ることを目的とし、スタッフの後見人活動を支援した。

【報告項目】

- ① 法人スタッフの権利擁護活動を支援
- ② 成年後見制度利用相談支援

【報告内容】

- ① 法人スタッフの権利擁護活動を支援

「ぱーとなー青森」に所属する法人スタッフ1名の後見活動を支援した。

対象者	実施内容	登記	担当
知的障害者 女性 60歳代	後見事務	H24.12.14	松倉

- ② 成年後見制度利用相談支援

成年後見制度利用に関係する相談を各相談支援機関事業所で受け付けつけることとなっていたが、どの事業所においても対象者が0件であった。

◆もの忘れ検診機器の貸出

報告担当者 有谷泉

【報告概要】

検診機器の貸し出しを通じてもの忘れ検診をより普及し、認知症予備軍の方々を見つけ出し適切な予防活動と医療機関受診につなげた。また認知症の早期発見、早期受診を目的とする普及活動を行った。

【報告項目】

- ① タッチパネル式の物忘れ検診機器を県内市町村及び団体等へ貸出
- ② 実施結果の集計
- ③ 機器の点検

【報告内容】

- ① タッチパネル式の物忘れ検診機器を市町村等へ貸出。

延貸出台数：71台

月	実施内容		
6月	京都府丹後保健所	1日間	2台
7月	新郷村	3日間	3台
	八戸市地域包括支援センター	1日間	5台
8月	京都府丹後保健所	1日間	2台
	青森大学	1日間	1台
9月	八戸市地域包括支援センター	1日間	5台
	野辺地町	1日間	2台
10月	野辺地町	1日間	2台
	田舎館村 地域包括支援センター	1日間	2台
	青森大学	2日間	1台
	東通村	1日間	2台
	七戸町 健康福祉課	2日間	2台
11月	八戸市地域包括支援センター	1日間	5台
	六戸町	3日間	3台
	西目屋村	1日間	3台
12月	大鰐町 保健福祉課	2日間	2台
	大鰐町 保健福祉課	2日間	1台
	楸豊美	1日間	1台
1月	八戸市地域包括支援センター	1日間	5台
2月	田舎館村 地域包括支援センター	1日間	2台
3月	大鰐町 保健福祉課	1日間	2台

- ② 実施結果の集計

今年度は集計は行わなかった。

- ③ タッチパネル検診機器の点検

月	実施内容
4月	タッチパネル機器とプリンタの点検

◆自動販売機等の設置及び不動産貸付事業

報告担当者 事務 有谷泉

【報告概要】

収益事業として、コインランドリーの設置及び自動販売機等を設置する事業等を行うことで収入を得て、公益目的事業へみなし寄附をすることで、公益目的事業の資金とした。

【報告項目】

- ① コインランドリー収入
- ② 自動販売機収入
- ③ 公衆電話収入
- ④ 屋外広告用看板スペース貸出し収入
- ⑤ 土地の賃貸借収入

【報告内容】

① コインランドリー設置収入

設置場所	実施内容
八戸市大字尻内町字八百刈 46-7 サービス付き高齢者住居「悠湯の里」敷地内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集金 ・ 洗濯機・乾燥機の清掃 ・ 機器の定期点検

② 自動販売機収入

設置場所	実施内容
八戸市大字尻内町字八百刈 46-7 サービス付き高齢者住居「悠湯の里」敷地内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販売機周辺の清掃 ・ 入金確認
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎	

③ 公衆電話収入

設置場所	実施内容
八戸市大字尻内町字八百刈 46-7 サービス付き高齢者住居「悠湯の里」内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集金 ・ 入金 ・ 電話機のメンテナンス
八戸市大字田面木字松長根 5-4 グループホーム「あおぞら」内	
八戸市大字田面木字赤坂 グループホーム「あおめ」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-9 ケアホーム「青風荘」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-35 障害者生活訓練施設「青山荘」内	

④ 屋外広告用看板スペース貸出し収入

貸出場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎 建物壁面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 借主との打合せ等 ・ 入金確認

⑤ 土地の賃貸借収入

場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 22-1	医療法人青仁会への賃貸契約による入金確認
八戸市大字田面木字赤坂 22-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-1	
八戸市大字田面木字赤坂 24-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-4	
八戸市大字田面木字赤坂 24-5	